

第4章 デザイン学研究科

第4章 デザイン学研究科

1 本研究科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン学研究科は、グローバルな視野と感性を持ち、社会を的確にとらえ時代の変化を洞察することで、将来予想される問題を優れたデザインの創出により解決し、豊かで新しい便利な生活と文化に寄与できる人材の育成を目指しています。

したがって、本研究科では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- デザインに係る十分な情報分析能力及び理論構築力を身に付けている
- 独創的で造形性豊かなデザインを発信できる能力を身に付けている
- グローバルな視野と感覚を持ち、独自の優れた個性を発揮できるデザイン制作能力を身に付けている
- 高度な専門性とマネジメント力を身に付けている

2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- 1 グローバルな視野と感性と独創的で造形性豊かなデザインを発信できる能力を身に付けるために、カリキュラムは、専攻及び領域の連携を図るべく編成されており、専攻共通科目、領域科目に区分しています。
- 2 専攻共通科目は、両専攻に必要とされる美学・美術史系の科目を中心として編成しており、現代における造形文化を考察し、解明するための視座の獲得を図ります。
- 3 豊かで新しい便利な生活と文化に寄与できる人材育成のため、領域科目では、所属する領域での高度な専門知識、能力、技術を養う科目により編成しています。

1 デザイン工学専攻

授業科目表

授業時間割表

1 デザイン工学専攻

1. 1 本専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン工学専攻は、地域社会と産業界の要請に応えられる、高度な専門的知識・技能・技術をベースにした総合的な思考力を有する高度専門職業人として多様な価値創造が可能なデザイナー及び研究者の育成を目指しています。

したがって、本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- それぞれの専門領域に関する十分な情報分析力及びデザイン理論による構築力を身に付けている
- 社会動向などを見据えたうえで、創造的かつ造形的なデザインを発信できる能力を身に付けている
- 高度な専門性を活かし、グローバル化に対応できるマネジメント力を身に付けている

1. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- 1 高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者に求められるグローバルな幅広い見識と視点、高度な専門性を涵養するために、「製品・情報デザイン学領域」、「建築・都市デザイン学領域」の2つの領域を置いています。
- 2 製品・情報デザイン学領域では、工業製品、日用品など製品を対象として、技術と感性の調和を図り、同時に人と製品のスムーズな協働（インタラクション）のためにユーザインタフェースなど情報を整理し、豊かな生活を創造する製品の実践的、総合的な教育研究に取り組みます。
- 3 建築・都市デザイン学領域では、人間生活の根幹となる建築空間を基軸にして、街づくり、都市や地域環境など広範囲な空間領域を対象として、人と環境の調和を目指した体系的・総合的な建築教育とともに、各分野を深く探究する先進的な研究活動に取り組みます。
- 4 特別研究は、2年間の研究活動を通じて、高度な研究遂行能力を涵養することを目的としています。研究テーマは学生の希望と指導教員の助言により設定され、修士論文及び修士作品あるいは研究科委員会で承認を受けた特定の課題における成果物の作成をします。

デザイン学研究科デザイン工学専攻授業科目表(平成30年度入学生用)

授業科目の名称		授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師、※印は授業補助教員)	配当年次	開講 時間数	単位数	
						必修	選択
製品・ 情報デザイン 学領域	プロダクトデザイン学特論Ⅰ	講義	森下 眞行	1・2	30		2
	プロダクトデザイン学特論Ⅱ	講義	塚本 カナエ	1・2	30		2
	インダストリアルデザイン学特論Ⅰ	講義	三原 鉄平	1・2	30		2
	インダストリアルデザイン学特論Ⅱ	講義	村木 克爾	1・2	30		2
	情報デザイン学特論Ⅰ	講義	小野 英志	1・2	30		2
	情報デザイン学特論Ⅱ	講義	益岡 了	1・2	30		2
	情報デザイン学特論Ⅲ	講義	尾崎 洋	1・2	30		2
	プロダクトデザイン学演習	演習	柳田 宏治*	1・2	60		2
	情報デザイン学演習	演習	未定*	1・2	60		2
	製品・情報デザイン学ゼミナール	演習	村木、森下、小野、塚本、ブルネリ、 益岡、三原、尾崎、上田、林、中原※	1	60		2
建築・ 都市デザイン 領域	空間計画学特論Ⅰ	講義	岩本 弘光	1・2	30		2
	空間計画学特論Ⅱ	講義	西川 博美、生田 国男*	1・2	30		2
	空間意匠学特論	講義	福濱 嘉宏	1・2	30		2
	構造デザイン学特論	講義	津田 勢太	1・2	30		2
	建築デザイン学演習Ⅰ	演習	西川 博美、朴 貞淑	1・2	60		2
	建築デザイン学演習Ⅱ	演習	坂本 昭*	1・2	60		2
	建築設計プラクシス	演習	岩本、福濱、津田、西川、朴、畠	1・2	120		4
	建築・都市デザイン学ゼミナール	演習	岩本、福濱、津田、西川、河合、朴、畠	1	60		2
専攻共通科目	美学特論	講義	樋笠 勝士	1・2	30		2
	美術デザイン批評特論	講義	河合 大介	1・2	30		2
	モード特論	講義	川野 佐江子*	1・2	30		2
	デザイン文化特論	講義	小林 昌廣*	1・2	30		2
	文学と美術	講義	柴田 奈美	1・2	30		2
	ビジネスマネジメント学特論	講義	助川 たかね	1・2	30		2
	プロジェクトマネジメント実践論	講義	吉原 直彦	1・2	30		2
	美学特論演習	演習	平山 敬二*	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅰ	演習	風早 由佳	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅱ	演習	アンソニー・ブルネリ	1・2	60		2
	領域共通科目	デザイン工学総合演習Ⅰ	演習	村木、小野、福濱、ブルネリ、益岡、西川、 三原	1	30	
デザイン工学総合演習Ⅱ		演習	村木、森下、塚本、岩本、津田、河合、尾 崎、朴	1	30		1
デザイン工学特別演習		演習	専攻全教員	2	60	2	
デザイン工学特別研究		演習	研究指導教員	1~2	180	6	

【修了要件】 次の要件を全て充足すること。

- 1 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 デザイン工学専攻の領域及び専攻共通の授業科目並びに指導教官が認める造形デザイン学専攻の授業科目のうちから次の3の要件を除いて22単位以上修得すること。
- 3 「デザイン工学特別演習」2単位、「デザイン工学特別研究」6単位の計8単位を修得すること。
- 4 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文及び修士作品又は特定の課題についての研究成果を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。なお、論文及び作品または特定の課題についての研究成果の審査は、主査(研究指導教員)1名、副査2名の審査委員会で審査並びに面接を行う。審査基準については別途告知する。
- 5 学部の授業科目については、研究科委員会の議を経て、4単位まで上記2の修了要件単位の22単位に含めることができる。単位認定を希望する学生は、修了予定年次の履修登録時に申請手続を行うこと。手続方法については別途告知する。

【注意事項】

- 1 「デザイン工学特別研究」については、積算して2年間の履修後に単位認定を行う。不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、(休学期間を除く)以降直近の期末において再度評価を受けることができる。
- 2 修了要件として「特定の課題についての研究成果」を提出するに当たっての細目は研究科委員会で検討し、当該学生に通知するものとする。
- 3 「デザイン工学特別演習」に関して、休学などの事由により半期のみ履修した場合、指導教官との相談を経て、次年度以降の半期の履修を積算することで単位認定できる。

建築士試験受験資格における実務の経験(1年)の指定科目について【平成30年度入学生用】

建築士試験の受験資格要件には、指定科目を修めて大学の建築又は土木の課程を卒業する等の学歴・資格要件と、実務の経験の要件がある。

デザイン工学専攻建築・都市デザイン学領域において、学外インターンシップとして指定を受けた「建築設計プラクシス」及びその他の科目について、次の表に示す条件を満たして単位を修得することにより、建築士試験受験資格における実務の経験(1年)として認められる。

なお、インターンシップ「建築設計プラクシス」の単位修得は必須である。

	建築実務に係る科目	本学における科目名	単位	備考
①	インターンシップ	建築設計プラクシス	4	必須科目
		小 計	4	
②	インターンシップ 関連科目 (演習・実習・実験)	建築デザイン学演習Ⅰ	2	
		建築デザイン学演習Ⅱ	2	
		建築・都市デザイン学ゼミナール	2	
		小 計	6	
③	インターンシップ 関連科目 (講義)	空間計画学特論Ⅰ	2	
		空間計画学特論Ⅱ	2	
		空間意匠学特論	2	
		構造デザイン学特論	2	
		小 計	8	
①+②+③の合計単位数			15単位以上	

デザイン学研究科 デザイン工学専攻(修士課程)

曜日	月						火					
時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期				空間意匠学特論 〈福濱〉 2単位 〈3306〉	プロダクトデザイン学特論Ⅰ 〈森下〉 2単位 〈3305〉	デザイン工学総合演習Ⅰ 〈村木、その他〉 1単位 〈3306〉		プロダクトデザイン学特論Ⅱ 〈塚本〉 2単位 〈3305〉	学術論文作法Ⅱ 〈ブルネリ〉 2単位 〈3503〉		美学特論 〈樋笠〉 2単位 〈3503〉	建築・都市デザイン学ゼミナール 〈岩本、福濱、津田、西川、河合、朴、畠〉 通年・2単位 〈3306〉
1・2年後期		情報デザイン学特論Ⅰ 〈小野〉 2単位 〈3305〉	情報デザイン学特論Ⅱ 〈益岡〉 2単位 〈3305〉			デザイン工学総合演習Ⅱ 〈村木、その他〉 1単位 〈3306〉	建築デザイン学演習Ⅰ 〈西川、朴〉 2単位 〈3306〉	ビジネスマネジメント学特論 〈助川〉 2単位 〈3306〉		空間計画学特論Ⅰ 〈岩本〉 2単位 〈3306〉	建築・都市デザイン学ゼミナール 〈岩本、福濱、津田、西川、河合、朴、畠〉 通年・2単位 〈3306〉	

曜日	水						木					
時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期	製品・情報デザイン学ゼミナール 〈村木、森下、塚本、小野、ブルネリ、益岡、三原、尾崎、上田、林、中原※〉 通年・2単位				情報デザイン学特論Ⅲ 〈尾崎〉 2単位 〈3305〉			インダストリアルデザイン学特論Ⅱ 〈村木〉 2単位 〈3305〉	情報デザイン学演習 〈未定*〉 2単位 〈隔週開講〉 〈8104〉			
1・2年後期	製品・情報デザイン学ゼミナール 〈村木、森下、塚本、小野、ブルネリ、益岡、三原、尾崎、上田、林、中原※〉 通年・2単位	インダストリアルデザイン学特論Ⅰ 〈三原〉 2単位 〈3306〉		学術論文作法Ⅰ 〈風早〉 2単位 〈3306〉								

曜日	金					
時間	1	2	3	4	5	6
1・2年前期			文学と美術 〈柴田〉 2単位 〈3621〉			
1・2年後期	美術デザイン批評特論 〈河合〉 2単位 〈未定〉	構造デザイン学特論 〈津田〉 2単位 〈3306〉				

集中授業	
1・2年前期	モード特論 〈川野*〉 2単位 デザイン文化特論 〈小林*〉 2単位 空間計画学特論Ⅱ 〈西川、生田*〉 2単位 建築デザイン学演習Ⅱ 〈坂本*〉 2単位 プロジェクトマネジメント実践論 〈吉原〉 2単位 建築設計プラクシス 〈岩本、福濱、津田、西川、朴、畠〉 4単位 デザイン工学特別演習 〈専攻全教員〉 通年・2単位 デザイン工学特別研究 〈研究指導教員〉 通年・6単位
1・2年後期	美学特論演習 〈平山*〉 2単位 プロダクトデザイン学演習 〈柳田*〉 2単位 建築設計プラクシス 〈岩本、福濱、津田、西川、朴、畠〉 4単位 デザイン工学特別演習 〈専攻全教員〉 通年・2単位 デザイン工学特別研究 〈研究指導教員〉 通年・6単位

留 意 事 項
◎ デザイン工学特別研究は、1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。 ◎ 教室は別途指示する。 ◎ 集中授業日程は別途指示する。 ◎ *は非常勤講師。 ◎ ※は授業補助教員。 担当教員は変更になる場合がある。

2 造形デザイン学専攻

授業科目表

授業時間割表

2 造形デザイン学専攻

2. 1 本専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

造形デザイン学専攻は、造形デザイン学の理論と技術を修得する教育研究を行い新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決し、社会に貢献することのできる高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者を育成することを目指しています。

したがって、本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- それぞれの専門領域に関する十分な情報分析・構築力及びデザイン理論構築力を身に付けている
- 社会動向などを見据えたうえで、創造的かつ造形的なデザインを発信できる能力を身に付けている
- 高度な専門性を活かし、グローバル化に対応できるマネジメント力を身に付けている

2. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- 1 高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者に求められるグローバルな幅広い見識と視点、高度な専門性を複合的に涵養するために、1専攻1領域制を導入し「造形デザイン学領域」で学生は学んでいきます。
- 2 印刷メディアを主体とした造形構成・編集や、デジタルメディアを主体としたコンテンツ形成におけるデザイン性・機能性が研究できるよう、ビジュアルデザインに関する高度な専門知識、能力、技術を育成する科目群を提供しています。
セラミック・テキスタイル・木材等を使ったアイテムのデザイン性・機能性や、現代を意識した表現の可能性が研究できるよう、造形デザインに関する高度な専門知識、能力、技術を育成する科目群を提供しています。
- 3 授業の取組としてプロジェクトに関わり、公共機関や企業などに社会提案を行うことで、実践的にデザインマネジメント力を養っていきます。
- 4 2年間の特別研究では、研究テーマに基づき調査・分析・考察を進め、論文と作品制作を通して造形デザイン学を深く探究していきます。

デザイン学研究科造形デザイン学専攻授業科目表(平成30年度入学生用)

授業科目の名称	授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当年次	開講 時間数	単位数	
					必修	選択
造形デザイン学領域	ビジュアルデザイン学特論	講義 吉原 直彦	1・2	30		2
	エディトリアルデザイン学特論	講義 山下 明美	1・2	30		2
	メディアデザイン学特論	講義 嘉数 彰彦	1・2	30		2
	コミュニケーションデザイン学特論	講義 野宮 謙吾	1・2	30		2
	セラミックデザイン学特論	講義 真世土 マウ	1・2	30		2
	セラミック造形学特論	講義 久保田 厚子	1・2	30		2
	テキスタイルデザイン学特論	講義 難波 久美子	1・2	30		2
	テキスタイル造形学特論	講義 島田 清徳	1・2	30		2
	ビジュアルデザイン学演習	演習 吉原 直彦、西田 麻希子	1・2	60		2
	エディトリアルデザイン学演習	演習 中西 俊介	1・2	60		2
	メディアデザイン学演習	演習 齋藤 美絵子、石 王美	1・2	60		2
	コミュニケーションデザイン学演習	演習 西田 麻希子	1・2	60		2
	セラミックデザイン学演習	演習 真世土 マウ	1・2	60		2
	セラミック造形学演習	演習 久保田 厚子	1・2	60		2
	テキスタイルデザイン学演習	演習 難波 久美子、岡本 汐加	1・2	60		2
	テキスタイル造形学演習	演習 島田 清徳、岡本 汐加	1・2	60		2
	フォトデザイン演習	演習 北山 由紀雄	1・2	60		2
	プリンティング造形演習	演習 関崎 哲	1・2	60		2
	デジタルコンテンツデザイン演習	演習 山下 万吉、石 王美	1・2	60		2
	生活デザイン演習	演習 南川 茂樹	1・2	60		2
産業陶磁演習	演習 作元 朋子	1・2	60		2	
インスタレーション演習	演習 三橋 遵*	1・2	60		2	
造形デザイン学総合プロジェクト	演習 助川 たかね	1	60		2	
造形デザイン学特別演習	演習 専攻全教員	2	60	2		
造形デザイン学特別研究	演習 研究指導教員	1~2	180	6		
専攻共通科目	美学特論	講義 樋笠 勝士	1・2	30		2
	美術デザイン批評特論	講義 河合 大介	1・2	30		2
	モード特論	講義 川野佐江子*	1・2	30		2
	デザイン文化特論	講義 小林 昌廣*	1・2	30		2
	文学と美術	講義 柴田 奈美	1・2	30		2
	ビジネスマネジメント学特論	講義 助川 たかね	1・2	30		2
	プロジェクトマネジメント実践論	講義 吉原 直彦	1・2	30		2
	美学特論演習	演習 平山 敬二*	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅰ	演習 風早 由佳	1・2	60		2
	学術論文作法Ⅱ	演習 アンソニー・ブルネリ	1・2	60		2
<p>【修了要件】 次の要件を全て充足すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。 造形デザイン学専攻の領域及び専攻共通の授業科目並びに指導教官が認めるデザイン工学専攻の授業科目のうちから次の3の要件を除いて22単位以上修得すること。 「造形デザイン学特別演習」2単位、「造形デザイン学特別研究」6単位の計8単位を修得すること。 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文及び修士作品又は特定の課題についての研究成果を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。なお、論文及び作品または特定の課題についての研究成果の審査は、主査(研究指導教員)1名、副査2名の審査委員会で審査並びに面接を行う。審査基準については別途告知する。 学部の授業科目については、研究科委員会の議を経て、4単位まで上記2の修了要件単位の22単位に含めることができる。単位認定を希望する学生は、修了予定年次の履修登録時に申請手続きを行うこと。手続方法については別途告知する。 <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「造形デザイン学特別研究」については、積算して2年間の履修後に単位認定を行う。不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、(休学期間を除く)以降直近の期末において再度評価を受けることができる。 修了要件として「特定の課題についての研究成果」を提出するに当たっての細目は研究科委員会で検討し、当該学生に通知するものとする。 「造形デザイン学特別演習」に関して、休学などの事由により半期のみ履修した場合、指導教官との協議を経て、次年度以降の半期の履修を積算することで単位認定できる。 						

デザイン学研究科 造形デザイン学専攻(修士課程)

曜日 時間	月						火					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期	メディアデザイン学演習 〈齋藤・石〉 2単位 〈3612〉		テキスタイル 造形学特論 〈島田〉 2単位 〈3211〉	産業陶磁演習 〈作元〉 2単位 〈7110〉			生活デザイン演習 〈南川〉 2単位 〈3413〉		コミュニケーション デザイン学 特論 〈野宮〉 2単位 〈3621〉	美学特論 〈樋笠〉 2単位 〈3503〉		
				テキスタイルデザイン学演習 〈難波・岡本〉 2単位 〈3211〉						学術論文作法Ⅱ 〈ブルネリ〉 2単位 〈3503〉		
1・2 年後期	セラミック 造形学特論 〈久保田〉 2単位 〈3212〉		セラミックデザイン学演習 〈真世土〉 2単位 〈7114〉					コミュニケーション デザイン学演習 〈西田〉 2単位 〈3621〉		ビジネスマネジ メント学特論 〈助川〉 2単位 〈3306〉	エディトリアル デザイン学演習 〈中西(俊)〉 2単位 〈3621〉	

曜日 時間	水						木					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期	ビジュアルデザイン学演習 〈吉原・西田〉 2単位 〈3621〉		セラミックデザ イン学特論 〈真世土〉 2単位 〈3212〉				セラミック造形学演習 〈久保田〉 2単位 〈3212〉					
1・2 年後期	デジタルコンテンツ デザイン演習 〈山下(万)・石〉 2単位 〈3515〉		エディトリアル デザイン学特論 〈山下(明)〉 2単位 〈3621〉	学術論文作法Ⅰ 〈風早〉 2単位 〈3306〉		ビジュアル デザイン学特論 〈吉原〉 2単位 〈3621〉	プリンティング造形演習 〈関崎〉 2単位 〈3512〉					
	テキスタイル造形学演習 〈島田・岡本〉 2単位 〈3211〉											

曜日 時間	金					
	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期	テキスタイル デザイン学特論 〈難波〉 2単位 〈3211〉	メディアデザ イン学特論 〈嘉数〉 2単位 〈3105〉	文学と美術 〈柴田〉 2単位 〈3621〉	フォトデザイン演習 〈北山〉 2単位 〈3306〉		
1・2 年後期	美術デザイン 批評特論 〈河合〉 2単位 〈未定〉		インсталレーション演習 〈三橋*〉 2単位(隔週開講) 〈3211〉			

集中授業	
1・2 年前期	モード特論 〈川野*〉 2単位 デザイン文化特論 〈小林*〉 2単位 造形デザイン学総合プロジェクト 〈助川たかね〉 通年・2単位 プロジェクトマネジメント実践論 〈吉原〉 2単位 造形デザイン学特別演習 〈専攻全教員〉 通年・2単位 造形デザイン学特別研究 〈研究指導教員〉 通年・6単位
1・2 年後期	美学特論演習 〈平山*〉 2単位 造形デザイン学総合プロジェクト 〈助川たかね〉 通年・2単位 造形デザイン学特別演習 〈専攻全教員〉 通年・2単位 造形デザイン学特別研究 〈研究指導教員〉 通年・6単位

履修上の留意事項

- ◎ 集中授業の日程及び教室は別途指示する。
- ◎ 造形デザイン学特別研究は、1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。
- ◎ *は非常勤講師。
- ◎ ※は授業補助教員。